令和８年度　第３回　地方独立行政法人静岡市立静岡病院評価委員会 会議録

１　日　　時　　令和８年 10 月７日（水）　19 時 00 分～19 時 45 分

２　場　　所　　静岡県産業経済会館　３階　第１会議室

３　出 席 者

（１）評価委員会委員

杉原委員（職務代理者）、青山委員、榊原委員、鈴木委員、竹内委員

（２）静岡市

杉山保健衛生医療統括監、降矢保健衛生医療部長、井橋市立病院支援担当課長、
越智主査、鈴木主任主事

（３）地方独立行政法人静岡市立静岡病院

小野寺理事長、前田副理事長兼病院長、大長副理事長、大畑理事、深澤理事兼副病院長、青山副病院長兼看護部長、平尾事業管理部長、傳刀医事経営部長兼医事課長、齋藤総務課長、川口人事課長、石川経営課長、小林施設課長、望月総合相談センター副センター長、大倉医事課参事兼課長補佐、松野総務課参与兼参事、納本総務課副主幹

４　傍 聴 者　　０人

５　議　　題

（１）第４期中期目標案について

（２）第４期中期計画素案について

６　会議内容

（１）開会

（２）議事

①第４期中期目標案について

〇井橋担当課長　資料１「第４期中期目標案に係るパブリックコメント結果概要」
資料２「第４期中期目標案に係る病院利用者アンケート結果概要」
資料３「第４期中期目標案」に基づき説明

〇杉原委員　それでは、ただ今の説明について、委員の皆様からご意見やご質問がありましたらお願いします。

〇竹内委員　早期の経常収支の黒字化に向けて取り組むとされていますが、黒字化にするにはどのようにして黒字化に取り組むか考えはあるのでしょうか。私たちとしては、病院はもともと黒字化を目指すべきではないと思っておりまして、しょうがないかなと思っておりますけれども、意見を聞きたいと思います。

〇井橋担当課長　事務局から説明をさせていただきます。この話は中期計画の中で具体的に KPI を設定しながら取り組んでいくこととなります。後ほど次の議題で説明をいただきますが、目標値として経常収支比率や、医業収支比率を設定し、その進捗を確認する中で、今以上に良くなるような経営を目指していただきたいというところで、設定をしたということでございます。

〇杉原委員　ありがとうございます。そのほかはよろしいでしょうか。それでは、第４期

中期目標案について、事務局から説明のありました内容でよろしいでしょうか。
（異議なし）

○杉原委員　それでは事務局案のとおりとさせていただきます。

②第４期中期計画素案について

○井橋担当課長　地方独立行政法人法における中期計画の位置付け等について説明

○齋藤総務課長　資料４「第４期中期計画素案」に基づき説明

○杉原委員　ただ今の説明について、委員の皆様からご意見やご質問がありましたらお願いします。

○鈴木委員　ご説明ありがとうございました。目標値の手術件数などは、静岡市は人口減少が進んでいる状況であって、この数値目標はどうなのかなと少し感じるところはございます。手術件数を増やしていくためには、手術時間の短縮やオペ室を空けていくようなことを考えられているのではないかと推測しております。令和 12 年度、13 年度からもう少し先になっていくと、静岡市全体の医療提供体制もあわせて考えると、達成しないと病院評価が下がってしまうので、気になるところです。救急患者の救急車の搬送者数においても、今は市全体でみると右肩上がりですが、市全体として頭打ちとか具体的にでてくるのか見極め、目標値は応需ですが、参考値の患者数などは少し変動があるのかなと感じているところです。感想になりますが以上です。

○傳刀医事経営部長兼医事課長　今後静岡市につきましては、人口減少が進む傾向にありまして、医療需要につきましてはまだ余力があると思っておりますので、この４年間につきましては、その医療需要を見極めながら、当院といたしましても生産性や効率性を上げながら、少しでも手術件数を増やしていければ、また救急搬送につきましても応需できればと思っております。引き続き努めてまいりたいと思います。ありがとうございます。

○竹内委員　一般企業の評価として、健診率は何%か、ストレスチェックテストは何%かこれが絶対に 100%にならないのが通例ではございますが、これもちゃんとした企業である証として並べていただくと面白いかなと思いますのでよろしくお願いします。

あとは黒字化の問題ですが、前回もお話させてもらいましたが、人間ドックの導入はいかがかというのがございまして、絶対黒字化には、静岡病院というブランドがありますので、そのようなことをやっていると、確実に上がってくると思いますが、そのあたりの評価はいかがでしょうか。

○川口人事課長　健診率とストレスチェックについて、ご質問いただきましたけれども、ストレスチェックについては手元に数字がないのですが、健診率につきましては、未受診者への働きかけをかなり熱心に行っており、特に問題となっているのは、医師の受診率がなかなか上がらないという点です。そちらにつきましては、病院長から直接未受診のドクターへ働きかけを行っていただきまして、医師の受診率も去年は 100%を達成しておりますので、今後も引き続き、全員受診を達成できるように努力を続けていきたいと考えています。

○傳刀医事経営部長兼医事課長　人間ドックや健診についてですが、当院でも診療報酬公

定価格に影響されないという意味では、やはり自費の料金のところをなるべく増収したいと思っており取組をしている最中ではございます。しかし、当院につきましては、病院の診療機能の中に健診センターを組み込んでおりまして、規模も医師１名、事務員２名というかなり縮小した中で運用しております。ただ、その中であっても色々なメニューを見直したり、静岡市の健診事業に参加したりとか、オプションを検討したりとか、少なくとも今以上に利用者数を増やしていきたいと、メニューを増やしていきたいと、これから検討し、推進していきたいと思っておりますので、今後も報告できればと思います。

○青山委員　医療安全は、安全な医療を提供するために非常に大切かなと思うのですが、以前の参考値はインシデントレポートの数ということで、今回は転倒転落発生率の数値が出てきたのですが、一番ダイレクトに３ｂ以上がアクシデントでカウントされると思うのですが、その実数が出てくると、より事故が少ないかどうか、やっていないか、やっているかというのがダイレクトにわかるのではないかと思います。もしそれが出しにくいということであれば、手法としては、ゼロレベル、何かが起こる前に前もって見つけるという、ゼロインシデントの報告件数などは出しやすいのかなと思うので、そのようなものを出されたら、参考とされたらどうかというふうに思いました。

○松野参与兼参事　ありがとうございます。医療安全の現場とも計画を作るにあたり色々と話しまして、インシデントという言葉をホームページで見た一般の方から、事故が多いという誤解を受けるというような意見もありまして、今回、素案では入院患者の転倒・転落発生率と医療安全作業部会の開催回数とさせていただきました。今、ご意見をいただきましたゼロレベルの公表をするにあたって、現場の方で抵抗感がないかどうか、一度確認をさせていただきまして、中期計画の中でも了解が得られるようであれば、参考値としてお示ししたいと思います。案の方でまた修正できれば、ご提示したいと思います。

○小野寺理事長　なかなか、この説明が大変でして、ゼロレベルというのを普通の人にわかってもらうためには、かなりの量の説明をしないといけない。そのようなことがあるので、実は、他病院でこのような計画を作成するときに、どれくらい出しているのか確認をしたのですが、ほとんど出しているところがなくて、かなり言い訳じみた感じでの説明になってしまうというので、今回は、このような形をとるというふうにしたわけなんです。もう少し検討をいたします。

○榊原委員　感想だけですけれども、資料９ページの４事務部門の強化について、参考値に診療情報管理士数となっておりまして、説明の中で資格取得のために支援をする考えだとお聞きしました。３職員の勤務意欲の向上は事務職ではないのかもしれませんけれども、３と同様に４も事務職員の恐らくモチベーションアップにつながるのではないかなということで、とてもいい取組といいますか、今後考えられるのかもしれませんが、とても良い考えかなと思いました。

○杉原委員　そのほかはよろしいでしょうか。それでは第４期中期計画素案について、本日いただいたご意見を踏まえ、市と病院と共に検討を進めていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

（異議なし）

〇杉原委員　それではよろしくお願いします。本日の議事は以上となりますが、事務局から何かありましたらお願いします。

〇井橋担当課長　第４期中期目標案について、３回にわたり評価委員会でご審議いただき、ありがとうございます。中期目標案については、冒頭に申し上げたとおり、11 月議会に上程をさせていただきまして議決されましたら速やかにホームページ上で周知を図ってまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

〇杉原委員　そのほか、委員の皆様からご意見等ございましたらお願いします。よろしいでしょうか。それでは事務局へ進行をお返しします。

〇鈴木主任主事　皆様、長時間にわたりご審議ありがとうございました。第３回委員会は 12 月 10 日（木）19 時からを予定しております。次回は、本日いただきましたご意見を反映した中期計画案について、ご審議いただく予定です。以上を持ちまして、令和８年度第３回地方独立行政法人静岡市立静岡病院評価委員会を閉会いたします。本日はありがとうございました。